

平成12年度相談概況

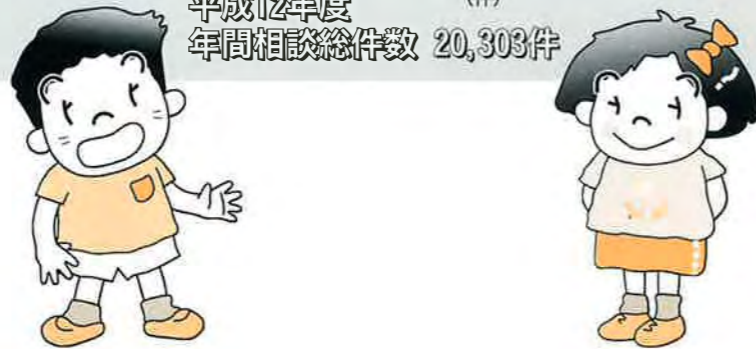
東京都総合教育相談室

年間相談総件数 20,303件

- ①総合教育相談室窓口
 - ・窓口のみの対応 1,958件
- ②いじめ・体罰等相談部門
 - ・電話相談 1,697件
 - ・来所相談 13件
- ③心理教育相談部門
 - ・電話相談 2,785件
 - ・来所相談 2,939件
 - ・教職員等からの相談 167件
- ④家庭教育相談部門
 - ・電話相談 1,507件
 - ・来所相談 226件
- ⑤高校進級・進路・就学相談部門
 - ・電話相談 7,970件
 - ・来所相談 248件
- ⑥夜間電話相談
 - ・電話相談 793件



平成12年度
年間相談総件数 20,303件



アドバイザースタッフ派遣

- ・専門家スタッフ 327件
- ・学生スタッフ 2,181件

多摩教育研究所教育相談室

- ・電話相談 423件
- ・来所相談 2,390件
- ・教職員等からの相談 215件

平成13年4月から、東京都総合教育相談室と多摩教育研究所教育相談室を統合し、東京都教育相談センターとしました。

東京都教育相談センター

- 電話相談** 午前9時から午後10時まで
(年末年始等を除く)
* 高校進級・進路・就学相談は
平日午後7時、土日祝日午後5時まで。
* 上記以外及び休館日等は
留守番電話により対応。
- 来所相談** 午前9時から午後5時まで(平日)
* 電話等で予約をして下さい。
- 受付電話番号** 03-3493-8008
- 所在地** 〒153-8939
東京都目黒区目黒1-1-14

来所相談については立川相談室でも
応じています

東京都教育相談センター立川相談室

- 来所相談** 午前9時から午後5時まで(平日) 来所
相談は東京都教育相談センター総合
受付で電話予約(受付電話番号03-3493
-8008)していただき、立川相談室で
応じます。
- 所在地** 〒190-8543
東京都立川市錦町6-3-1

広報 相談センター

第2号

平成13年11月発行
東京都教育相談センター
東京都目黒区目黒1-1-14
TEL 03(5434)1983
FAX 03(3493)2293

一日の家事や仕事を終えた後、ようやく子どもの悩みや不安についての相談の時間がもてる保護者、夜になると学校での友だち関係などの悩みが思い出され精神的に不安になる子ども、このような状況が増えています。

東京都教育相談センターでは、24時間いつでも対応できる相談体制を整備しました。

子育て相談 “すこやかさん” 電子メールによる保護者からの相談の受付を始めました

当相談センターホームページにメール相談受付のページがあります。ここでは、電子メールによる相談の受付「子育て相談すこやかさん」の案内をしています。

子どもの悩みや子育てのことなどについて相談したい、必要な情報がほしいけれど、相談機関へ出向いて相談したり電話したりするのはちょっと、と思われるような場合に利用することができます。24時間いつでも相談の内容を送信することが可能です。

送信された内容によって、相談センターではどのように相談を進めることができるのかなど必要な情報を個別に案内します。また、相談センターで対応できないような内容については可能な範囲で関係機関を紹介します。

なお、継続的な相談の必要がある場合には、直接お会いしながら相談を進めることが必要ですので、来所での相談を勧めています。

詳しくはホームページをご覧ください。(24時間いつでも利用できます)

電話相談体制の充実を図りました

子どもからの心の悩みや不安に関する相談、保護者からの子育てに関する相談などについて、対象者の年齢や相談内容によって多様な対応をしています。

電話相談

平日：午前9時～午後7時 土、日、祝日：午前9時～午後5時

夜間電話相談

平日：午後7時～午後10時 土、日、祝日：午後5時～午後10時

留守番電話対応による相談の受付

毎日：午後10時～翌朝午前9時 及び年末年始等の休館日

留守番電話による対応を行っています。録音された内容については、翌朝9時に所員が確認します。相談を希望している場合には(名前と連絡先が録音されている場合)相談センターから連絡します。

※すべて電話番号は03-3493-8008です

ホームページによる事業案内の充実を図りました

東京都教育相談センターの主要な事業等について案内をしています。各相談の内容や相談の進め方、申し込みの方法等について詳しく紹介しています。(主要な事業については英語、中国語、ハンガリー語によっても案内しています)

また、大阪教育大学附属池田小学校での事件やアメリカでの同時多発テロ事件などに関連して「恐怖体験から不安を感じたりして、心が傷ついた子どもたちへの対応」など時機をとらえて、教育相談にかかわる様々な情報も掲載していきます。

URL : <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>

グループサポートを始めました

—不登校の子どもとその保護者への支援のために—

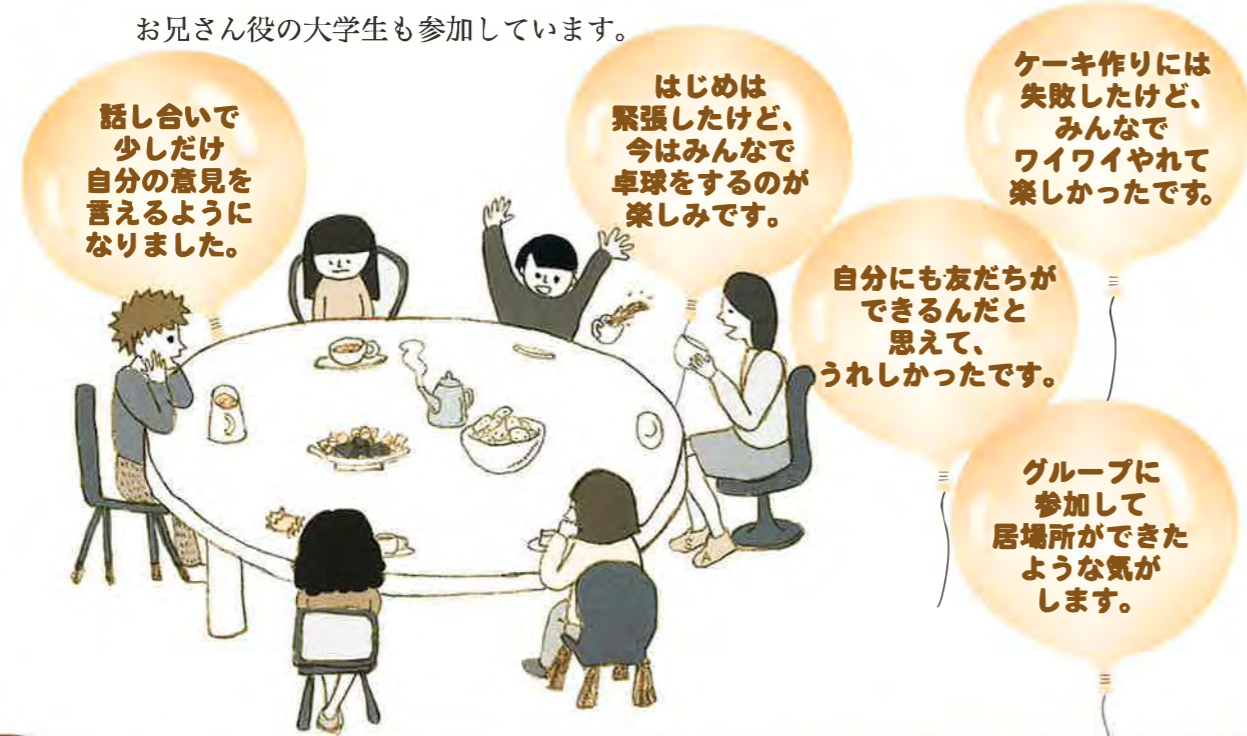
Q グループサポートって何ですか？

登校が難しかったり、友だちとうまくつきあえなかったりして困っている子どもを対象に、集団でのカウンセリングを行います。そこで、人の話をきいたり、自分の気持ちや考えを相手に伝えたりする練習をして、社会生活への適応力を育てています。

また、不登校の子どもをもつ保護者を対象に、集団でのカウンセリングを行います。そこで、保護者同士が悩みや不安を共有したり、子どもへのかかわり方等について一緒に考えたりしています。

Q 子どもグループでは、どんなことをしているんですか？

週に1回、2時間30分、ゲームや卓球、料理、工作などの活動をしたり、お茶を飲みながらグループディスカッションをしたりしています。センターのスタッフの他に姉さん、お兄さん役の大学生も参加しています。



Q 適応指導教室とどのように違うのですか？

多くの適応指導教室では学習指導を中心に行っていますが、グループサポートでは、心理の専門家が対人関係の力や集団への適応力を育てることを中心に行っています。

そのためグループサポートでは、適応指導教室には通級できなかったり、通級が中断してしまったりした子どもたちも参加しています。

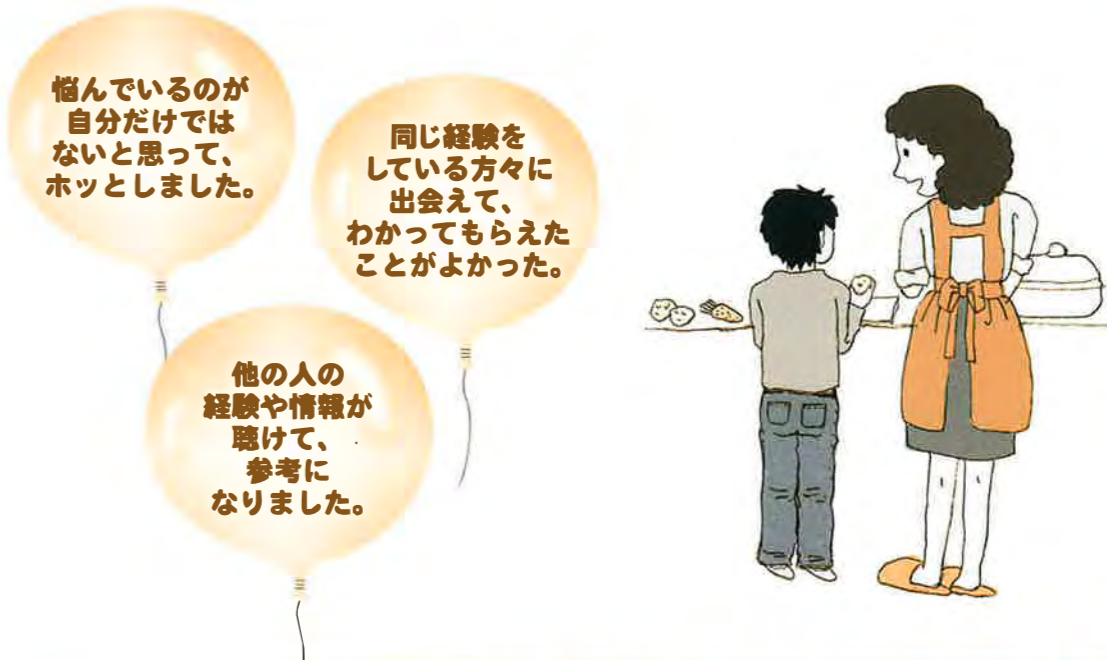
Q どんなグループがあるんですか？

今年度は、小学生(1、2、3年)、中学生、高校生を対象にグループが開かれています。子どものグループと保護者のグループがあります。子どものみ、保護者のみの参加もできます。

| | | |
|-----|----------|------------------------------|
| 子ども | 教育相談センター | 小学生(1、2、3年) 中学生 高校生 |
| | 立川相談室 | 中・高校生 |
| 保護者 | 教育相談センター | 小学生(1、2、3年)保護者 中学生保護者 高校生保護者 |
| | 立川相談室 | 中・高校生保護者 |

Q 保護者グループはどんなことをしているのですか？

月に1回、1時間30分、保護者同士でのグループディスカッションを通して子どもに対する理解を深めたり、その対応について考えたりしています。



Q 参加したいときはどうすればいいのでしょうか？

詳しいお話をお伺いして、グループ参加の手続きを説明します。下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：東京都教育相談センター
TEL 03-5434-1982